

## 7.3 勝連地域のみどりの方針

### 7.3.1 地域の現況

#### 【概要】

勝連地域は、勝連半島の中城湾側及び浜比嘉島、津堅島で構成されています。勝連半島では県道8号線や県道16号線沿道に大規模な集落が形成され、周辺は農地や丘陵地等のみどりが広がっています。



#### 【みどりの現況】

勝連半島南側の斜面緑地や、勝連半島、浜比嘉島、津堅島の海岸線等の自然及び集落景観が残っています。また、琉球王国のグスク及び関連遺産群の一つとして世界遺産に登録されている勝連城跡や各地域に残る歴史文化資源が数多くあります。

土地利用の状況は、山林が比較的多く29.5%です。また、自然的土地利用が58.9%、都市的土地利用が41.1%となっています。

公園・緑地は、都市公園が16.47haであり、一人当たり公園面積は13.00 m<sup>2</sup>/人となっています。市全体のみどりの総量に対する都市公園の割合は0.443%です。

表 7.5 公園・緑地の状況（勝連地域）

項目	都市公園 (最大(供用))	公共施設緑地 (その他の公園)	一人当たり 公園面積	人口 (令和2年国勢調査)
勝連地域	16.47ha (16.47ha)	0.00ha	13.00 m <sup>2</sup> /人 (13.00 m <sup>2</sup> /人)	12,671人
市全体のみどりの 総量(3721.88ha) に対する割合	0.443% (0.44%)	0%	-	-

※市全体の一人当たり公園面積12.07 m<sup>2</sup>/人(令和2年(2020年))

出典：都市公園：(最大：未開園面積含む)うるま市資料(令和4年7月28日現在)、うるま市公園整備プログラム(平成27年3月)、公共施設緑地：うるま市公園整備プログラム(平成27年3月)、うるま市資料(令和4年7月28日現在)

### 7.3.2 みどりの特性

基本方針（「守る」「育てる」「つくる」「広げる」）に基づき、みどりの特性を示します。

#### 【守る】

- 都市公園や勝連半島南岸の斜面地、宮城島、津堅島周囲の斜面緑地などのみどりが都市構造を形成しています。（環境保全）
- 海岸部や島しょ部のみどりは、ウミガメの産卵地や鳥類の生息する場であり、生物多様性を育む自然環境となっています。（生物多様性）

#### 【育てる】

- 勝連城跡、キャロット愛ランドなどの公園緑地がみどりの環境保全や防災のためのみどりとなっています。（環境保全）（防災）（観光レクリエーション）

#### 【つくる】

- 勝連城跡やグスクなどが地域の美しい景観や、培われてきた歴史文化による魅力あるみどりとなっています。（景観・歴史文化）

#### 【広げる】

- 県道 16 号線のフクギ並木道や、学校施設や商業施設等の緑化空間などは、公民連携により、みどりが育まれています。（公民連携・市民協働）
- 住宅地や海岸等での緑化活動により地域のコミュニティを醸成しています。（意識啓発）

### みどりの特性

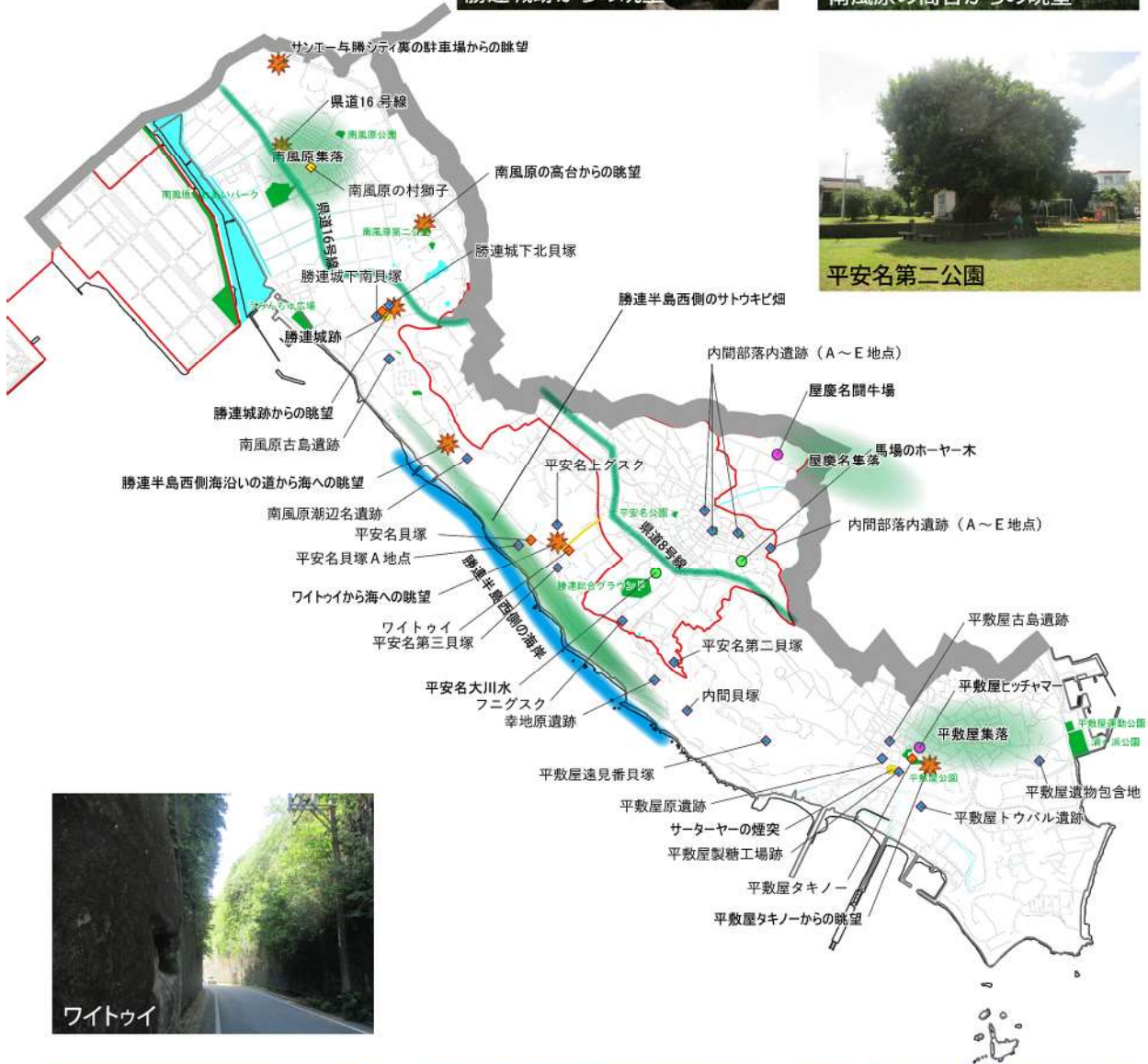
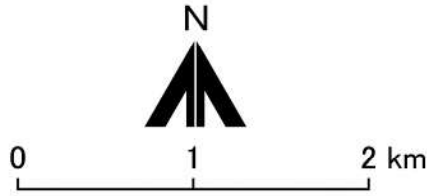
第 2 次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・人の心をやさしくする。人を癒す。季節を感じられる。
- ・水の浄化作用が大切。SDGs は「持続可能な開発目標」として人類の存続のために必要。

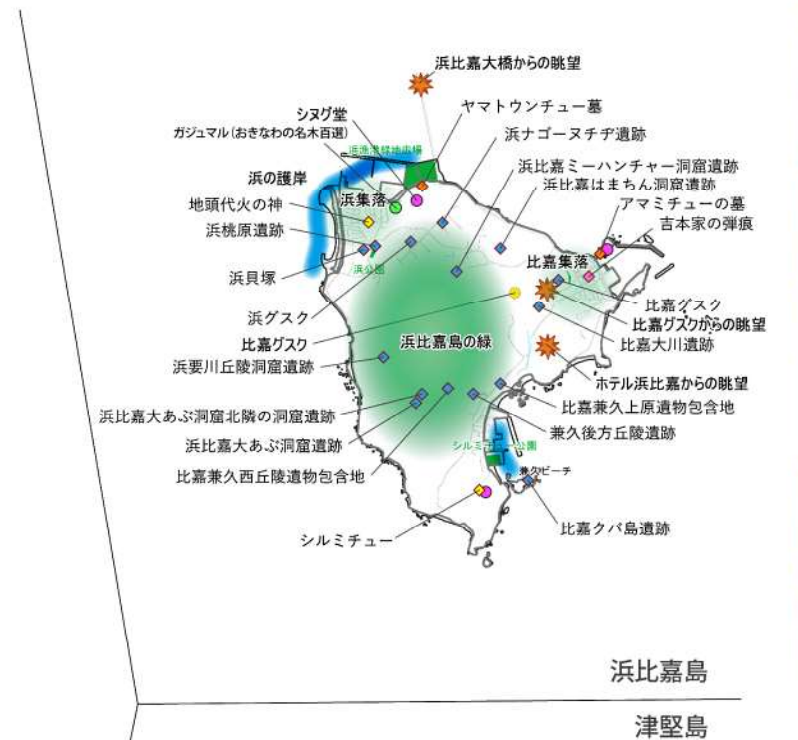
※勝連地域・与那城地域共通

表 7.6 主なみどりの資源（勝連地域）

項目	主なみどりの資源
樹林地	勝連半島南岸の急傾斜地、島しょ地域の斜面緑地等
農地	南風原のサトウキビ畑、津堅島のニンジン畑等
海岸・海浜	中城湾の海岸・海浜、南風原の海水路、トゥマイ浜等
歴史・文化	勝連城跡、平安名ガー、ワイトゥイ、アマミチューの墓等
屋敷林	フクギ屋敷林（浜比嘉島、津堅島等）、内間のハウヤー木 2 世等
おきなわの名木百選	ガジュマル、津堅小中学校のクワノハエノキ
道路（街路樹）	県道 16 号線のフクギ並木道等
公園・緑地	平敷屋公園、浦ヶ浜公園、キャロット愛ランド等
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、リゾートホテル、大規模商業施設等
良好な眺望点	勝連城跡、比嘉グスク、平敷屋タキノー等
地域の緑化活動	道路の緑化・清掃活動等







凡例	
	用途地域界
	公園
	水面
	ビーチ
	主な幹線道路
	良好なみどり
【景観資源】	
	自然系資源
	歴史・文化系資源
	生活・産業系資源
	眺望系資源
【文化財等】	
	天然記念物
	史跡
	建造物
	その他の有形民俗文化財
	名勝
	埋蔵文化財包蔵地

図 7.5 勝連地域の現況特性図

1. 計画の概要
2. 現況調査
3. 計画課題
4. 緑及緑化び地の目標全
5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全
6. の推及緑施進び地策の緑のた化保めの全
7. 地域別計画
8. 配地線慮区化地・重区保点全
9. 向計け画て実現に
10. 巻末資料

### 7.3.3 みどりの将来像

#### 国を代表する歴史拠点歴史文化を感じられる風格あるみどりのまちづくり

##### ～考え方～

- ・世界遺産である勝連城跡やグスクなどのある歴史拠点となる地域です。地域はフクギ屋敷林などのある集落が点在し、勝連半島南岸や島しょ地域の斜面緑地など自然に特徴のある地域です。これらを今後とも保全・活用し、将来に引き継いでいくみどりのまちづくりを目指します。
- ・市民との協働により、世界に誇れる風光明媚で風格のあるみどりのまちづくりを進めます。

##### みどりの将来像

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・100年後の姿を考えながら木を植えると良いと思う。(デイゴなど)
- ・みどりを「見せる」・「魅せる」工夫をしながら緑化をうまく進める必要がある。
- ・泥灰岩の保全。島尻泥岩(クチャ)の保全、対応が必要。

※勝連地域・与那城地域共通

### 7.3.4 みどりの方針

みどりの特性を踏まえて、みどりの将来像を実現するため、勝連地域のみどりの方針を示します。

#### (1) 守る

##### ①都市構造の骨格となるみどり(樹林地・山林・水面)の形成

- ・勝連半島南岸の急傾斜地、浜比嘉島を覆う斜面緑地、津堅島を取り囲む斜面緑地等のまとまった緑地帯は、本市や地域を守る自然として保全を図ります。

##### ②優れた農業環境としてのみどり(民有林、保安林、農地)の保全

- ・南風原周辺の中城湾に面したサトウキビ畑や津堅島のニンジン畑等の農地は、地域の田園風景として保全・活用を図ります。

##### ③都市環境を守るみどりの保全

- ・都市公園、島しょ地域の斜面林等のみどりは、都市環境の改善に資するみどりとして継続的に保全を図ります。

##### ④快適な生活環境を守る多様性に富んだみどり(都市公園等)の保全・創出

- ・勝連城跡公園(総合公園)などの都市公園の整備を進めます。浦ヶ浜公園やキャロット愛ランド等の既存公園については、快適に利用できるよう、地域住民や関係機関の協力のもと花や木の植樹、遊歩道・遊具・トイレ等の施設の整備と維持管理を図ります。



## ⑤生物多様性を保全するみどりの保全

- ・勝連半島の中城湾に面した海岸線、浜比嘉島の南側の海岸線及び津堅島の海岸線は、良好な自然環境や生態系を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努めます。
- ・浜比嘉島に整備された人工ビーチなどは、一層のみどりの創出に努めます。南風原の海水路ではトカゲハゼの生息地として人工干潟が造成されており、今後も保全・活用を図ります。

## 守る

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・沖縄伝統楽器である三線の材料になる樹木（クロキ）、花が咲く木（桜、でいご）、クワディーサー、仏壇行事にかかせない有用木（チャージ）、防風林の樹木イスノキ等の植栽

※勝連地域・与那城地域共通

## (2) 育てる

### ①自然災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・管理

- ・勝連半島南岸の斜面緑地等のまとまった樹林地は、津波等の災害からの緩衝緑地として、また、津堅島等の集落に残るフクギ屋敷林は防風対策等の観点から保全・整備を図ります。

### ②都市災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・形成

- ・防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置します。

### ③避難体系を構成するみどりの形成

- ・地震や風水害時に災害から人命を守る避難地や防災活動拠点となる公園・緑地の確保とともに、各拠点につながる安全な避難ルートの確保に努めます。

### ④日常圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（健康増進、交流）

- ・身近な地域に存在する公園について、地域コミュニティの拠点づくりを図ります。

### ⑤広域圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（観光）

- ・世界遺産である勝連城跡は、北側にある沼地等の周辺の自然環境や生態系を保全しつつ総合公園としての整備を進め、市民及び来訪者の憩い・交流の場、観光・レクリエーション拠点としての有効活用を図ります。



### ⑥自然とのふれあい・交流の場となるみどりの保全・活用（自然・海岸・海浜の利活用）

- ・ビーチ等のある海岸は、自然とのふれあいの場として保全を図るとともに、環境に配慮した利用に資する整備を進めます。

## 育てる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・安全（交通安全、防犯面）にも配慮したみどり、県道に花を植えている。
- ・のびのびとした子どもたちも来る緑の多い公園になると良い。

※勝連地域・与那城地域共通

### (3) つくる

#### ①郷土景観となるみどりの形成

- ・浜比嘉島・津堅島の島しょ地域には、伝統的な農村・漁村集落の形態が見られ、集落内に残るフクギ屋敷林、集落背後林、大木・古木、井泉等の資源を保全し、郷土景観を形成します。また、内間のハウヤー木2世（ガジュマル）、津堅小中学校のクワノハエノキ等は、地域のシンボルとして地域住民と協力して維持・保全します。
- ・世界遺産である勝連城跡の周辺の住宅地は、城下町に相応しい景観づくりとして、質の高い緑化を進める等、地域住民とともに住宅地のみどりの保全・創出に取り組みます。



#### ②都市景観を創出するみどりの魅力向上

- ・県道 16 号線はフクギ並木道等の植栽帯を形成しています。世界遺産である勝連城跡への玄関口として、今後も地域住民との連携のもと、緑化等による沿道景観づくりを進めます。
- ・その他の道路についても、地域が愛着を持って育てていけるよう地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理に努めます。

#### ③優れた眺望点の利用促進

- ・勝連半島南側の急傾斜地や、比嘉グスク、平敷屋タキノー等の高台から見る中城湾、金武湾、島々、集落景観及び田園風景等の眺望を、地域と協力しながら維持・保全に努めます。
- ・世界遺産である勝連城跡については、ランドマークとしての勝連城跡への眺望及び勝連城跡からの周辺地域や海への眺望を保全します。

#### ④歴史文化を伝えるみどりの保全・形成

- ・世界遺産の勝連城跡は歴史的に重要な資源であり、来訪者が多く訪れる観光拠点として保全・活用を図ります。
- ・平安名ガー、内間の角ガー、津堅のアラカー等、各集落に残る井泉やその周辺環境は、地域と協働で環境整備や維持・保全を図ります。
- ・戦争の歴史を伝えるサーターヤーの煙突（勝連平敷屋）等や、ワイトゥイ、各集落にある拝所等の地域の歴史文化資源は、地域の協力のもと史跡周辺のみどりと一体的な維持・保全を図ります
- ・浜比嘉島にあるアマミチューの墓やシルミチュー、東の御嶽（シヌグ堂）等の遺跡を、島の地域資源として保全・活用します。





## ⑤河川、海岸における美化及び整備の推進

- ・津堅島のトゥマイ浜や、浜比嘉島の浜ふるさと海岸等の水辺は、自然とのふれあいの場として、環境に配慮した利用に資する整備や不法投棄等のごみ対策等が必要です。

## ⑥住民参加・県民運動による緑の美ら島づくり

- ・地域の住民参加による、身近な緑地環境の創出・保全活動を通じて、みどりの美ら島づくりの活動を推進します。

## つくる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・聖域を意識し、大切にしていくことも必要であると思う。

※勝連地域・与那城地域共通

## (4) 広げる

### ①公民連携による公園整備

- ・民間企業やみどりのまちづくりを進める組織・団体と連携して、都市公園などの整備・管理運営・活用を進めていきます。

### ②公園等への市民協働による適切な緑化の推進

- ・自治会をはじめ、地域住民等で組織される緑化団体が活動しています。これらの団体とボランティア・関係機関・行政等による協働体制により、沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組みます。

### ③学校等の公共施設や身近なみどりの継続的な管理の推進

- ・地域の参加により、公共施設緑化を進めます。大規模商業施設の緑化、観光振興にも寄与するリゾートホテルの緑化等、それぞれの施設の特性に応じた緑化・維持を進めます。

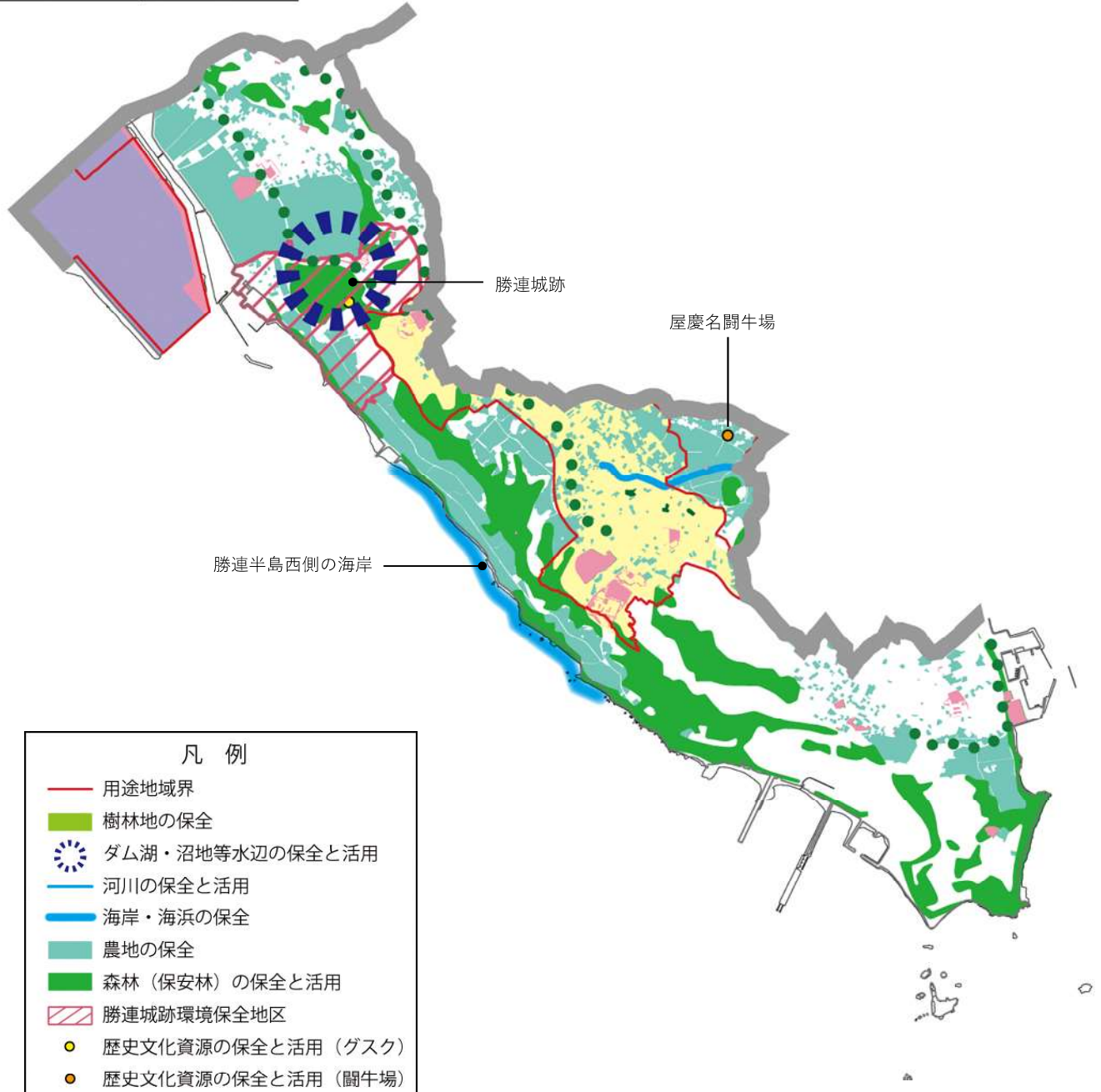
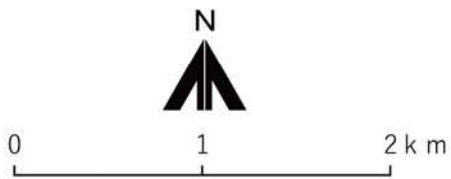
## 広げる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・若い人の緑への関心を高めるため、行政も一緒に取り組んでほしい。
- ・照間では、地域の若い人たちがみどりの取組をしている。みどりに関する取組への参加でその地域のみどりに愛着が湧く。地域の意識が取組に影響する。
- ・ボランティアの大変さに共感してもらい、手伝っていただく方法もある。
- ・楽しみながらみどりを広げると良い。そのためには、PTA活動との連携や、子どもたちが参加しやすいイベントの開催、広報（冊子等）で周知を行い、大人にも来てもらう仕掛けをつくると良い。
- ・広報にボランティアをするメリット等を掲載してそれを広め、知ってもらうと良い。
- ・参加するきっかけづくりや、初めて参加される方の不安を解消させることが必要である。
- ・仕事が忙しい中でも参加できる取組があると良い。

※勝連地域・与那城地域共通





- 凡 例
- 用途地域界
  - 樹林地の保全
  - ☼ ダム湖・沼地等水辺の保全と活用
  - 河川の保全と活用
  - 海岸・海浜の保全
  - 農地の保全
  - 森林（保安林）の保全と活用
  - ▨ 勝連城跡環境保全地区
    - 歴史文化資源の保全と活用（グスク）
    - 歴史文化資源の保全と活用（闘牛場）
  - 道路の緑化（街路樹）
  - 都市公園・都市緑地
  - 公共施設緑地
  - 住宅地のみどりの保全と創出
  - 工業地の緑化

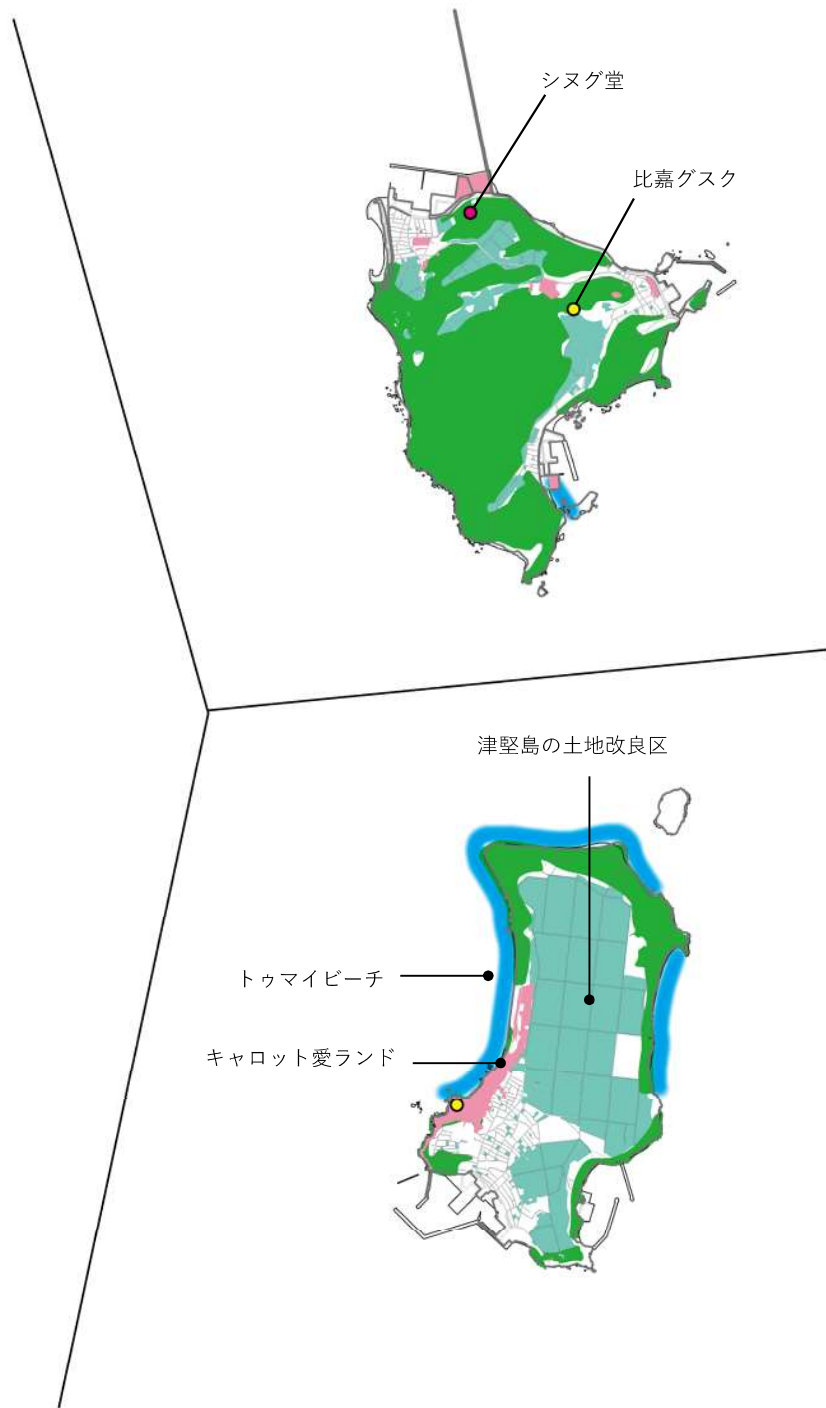


図 7.6 勝連地域の方針図

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の目標

5. 推及緑進び地の緑の方針

6. 推及緑進び地の緑の方針

7. 地域別計画

8. 配地線慮区化地・重区保点全

9. 向計  
け画  
て実  
現に

10. 巻末資料

## 7.4 与那城地域のみどりの方針

### 7.4.1 地域の現況

#### 【概要】

与那城地域は、勝連半島の金武湾側及び平安座島、宮城島、伊計島で構成されています。勝連半島では県道 8 号線及び県道 37 号線沿道に集落が形成され、その周辺は農地や丘陵地等のみどり豊かな空間が広がっています。



#### 【みどりの現況】

平安座島、宮城島及び伊計島の海岸線や丘陵地、斜面緑地等に豊かな自然が残っています。

地域には、海中道路等の観光資源や各地域に残る数々の伝統行事、文化遺産等の地域資源が豊富にあります。

土地利用の状況は、宅地の利用が最も多く 31.7%、次いで農地の利用が 27.3%となっています。自然的土地利用が 56.5%に対して、都市的土地利用は 43.5%です。

公園・緑地は都市公園が 16.39ha、公共施設緑地が 7.01ha となっており、一人当たり公園面積は 20.43 m<sup>2</sup>/人と 4 地域の中で最も多くなっています。市全体のみどりの総量に対する都市公園の割合は 0.440%であり、公共施設緑地は 0.188%となっています。

表 7.7 公園・緑地の状況（与那城地域）

項目	都市公園 (最大(供用))	公共施設緑地 (その他の公園)	一人当たり 公園面積	人口 (令和 2 年国勢調査)
与那城地域	16.39ha (16.40ha)	7.01ha	20.43 m <sup>2</sup> /人 (20.44 m <sup>2</sup> /人)	11,451 人
市全体のみどりの 総量 (3721.88ha) に対する割合	0.440% (0.44%)	0.188%	—	—

※市全体の一人当たり公園面積 12.07 m<sup>2</sup>/人 (令和 2 年 (2020 年))

出典：都市公園：うるま市資料 (令和 4 年 7 月 28 日現在)、うるま市公園整備プログラム (平成 27 年 3 月)・公共施設緑地：うるま市公園整備プログラム (平成 27 年 3 月)、うるま市資料 (令和 4 年 7 月 28 日現在)

## 7.4.2 みどりの特性

基本方針（「守る」「育てる」「つくる」「広げる」）に基づき、みどりの特性を示します。

### 【守る】

- 島しょ地域の斜面緑地、屋慶名川、宮城島（オオガニ生息地）等の生物多様性を育む自然環境が存在します。（生物多様性）

### 【育てる】

- 与那城総合公園横のクワディーサー並木道や海中道路ロードパーク等のまちづくりと連動し、観光レクリエーションの場となるみどりが存在します。（観光レクリエーション）

### 【つくる】

- 仲原遺跡、屋慶名闘牛場等の歴史文化などの個性があり、まちの魅力を高めるみどりが存在します。（景観・歴史文化）
- 屋慶名や伊計等のフクギ屋敷林、学校施設等の緑化空間は、市民や来訪者が交流し、憩えるみどりとなっています。（市民協働・意識啓発）

### 【広げる】

- 地域住民等による公園や道路の清掃活動や宮城島での生物観察会等のイベント開催などが行われ、地域のコミュニティを醸成に資するものとなっています。（意識啓発）

## みどりの特性

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- 人の心をやさしくする。人を癒す。季節を感じられる。
- 水の浄化作用。SDGsは「持続可能な開発目標」として人類の存続のために必要。

※勝連地域・与那城地域共通

## 【主なみどりの資源】

表 7.8 主なみどりの資源（与那城地域）

項目	主なみどりの資源
樹林地	与那城、西原や屋慶名等の丘陵地、島しょ地域の斜面緑地等
農地	照間のピーグ田（い草田）、伊計のタバコ畑等
河川	屋慶名川
海岸・海浜	金武湾の海岸・海浜、伊計ビーチ・大泊ビーチ等
歴史・文化	仲原遺跡、ジャネー洞、屋慶名闘牛場、ガーラ缸等
屋敷林	フクギ屋敷林（屋慶名、伊計等）、伊計小中学校のクワノハエノキ等
おきなわの名木百選	シヌグ毛のクワディーサー、シヌグ毛のデイゴ（南）、アシビナーのアカウ、クルフクギー
道路（街路樹）	与那城総合公園横のクワディーサー並木道、海中道路ロードパーク、照間のモクマオウ群等
公園・緑地	与那城総合公園、宮城中央公園等
民間施設緑地	—
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、石油基地、リゾートホテル等
良好な眺望点	野グスク等
地域の緑化活動	あやはし海中ロードレースに向けたボランティアによる花の苗の植え付け等



- 凡例
- 用途地域界
  - 公園
  - 水面
  - ビーチ
  - 主な幹線道路
  - 良好なみどり
  - 【景観資源】
  - 自然系資源
  - 歴史・文化系資源
  - 生活・産業系資源
  - 眺望系資源
  - 【文化財等】
  - ◆ 天然記念物
  - ◆ 史跡
  - ◆ 建造物
  - ◆ その他の有形民俗文化財
  - ◆ 名勝
  - ◆ 埋蔵文化財包蔵地





図 7.7 与那城地域の現況特性図

1. 計画の概要
2. 現況調査
3. 計画課題
4. 緑及緑化び地の目標全
5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全
6. の推及緑施進び地策の緑の方化保めの全
7. 地域別計画
8. 配地線慮区化地・重区保点全
9. 向計け画て実現に
10. 巻末資料

### 7.4.3 みどりの将来像

#### 沿岸部や島しょ地域の多様な生態系を守るみどりのまちづくり

##### ～考え方～

- ・ウミガメの産卵地や干潟、藻場、サンゴ礁などの多様な生態系を有する沿岸部地域です。また、地域にはグスクやフクギ屋敷林などが残り、エイサーなど民俗文化財の歴史文化資源を有する暮らしの場となっています。これらの自然及び歴史文化の豊かなみどりを市民とともに保全していきます。

##### みどりの将来像

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・100年後の姿を考えながら木と植えると良いと思う。(デイゴなど)
- ・みどりを「見せる」・「魅せる」工夫をしながら緑化をうまく進める必要がある。
- ・泥灰岩の保全。島尻泥岩(クチャ)の保全、対応

※勝連地域・与那城地域共通

### 7.4.4 みどりの方針

みどりの特性を踏まえて、みどりの将来像を実現するため、与那城地域のみどりの方針を示します。

#### (1) 守る

##### ①都市構造の骨格となるみどり(樹林地・山林・水面)の形成

- ・西原や屋慶名等の丘陵地、平安座集落背後や宮城島及び伊計島を取り囲む斜面緑地、藪地島を覆う緑地等は、地域の大切な自然景観として保全を図ります。

##### ②優れた農業環境としてのみどり(民有林、保安林、農地)の保全

- ・照間のビーグ田(い草田)は、地域の貴重な田園風景として保全に努めます。また、宮城島・伊計島には地域の特性に合った田園風景が広がっており、集落景観や漁村景観と一体的な保全・活用を図ります。



##### ③都市環境を守るみどり(地域制緑地等)の保全

- ・保安林、河川、文化財などのみどりは、都市環境の改善に資するみどりとして継続的に保全・活用を図ります。

##### ④快適な生活環境を守る多様性に富んだみどり(都市公園等)の保全・創出

- ・与那城総合公園や宮城中央公園等の既存公園については、快適に利用できるよう地域住民や関係機関の協力のもと、適切な維持管理を図ります。

##### ⑤生物多様性を保全するみどりの保全

- ・本地域の海岸域は、伊計島に植生するアオガンピや宮城島に生息するオカガ二等の生物の生息地・生育地となっています。また、白い砂浜の伊計ビーチ・大泊ビーチ等は、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努めます。



## ⑥河川等の水辺の水質改善

- ・屋慶名川は、身近な水辺のみどりとして周辺環境と調和の取れた景観形成に取り組みます。

## 守る

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・与那城の離島の森林（石川地域WS）
  - ・沖縄伝統楽器である三線の材料になる樹木、花が咲く木（桜、でいご）、クワディーサー、仏壇行事にかかせない有用木（チャーギ）、防風林の樹木イスノキ等の植栽
  - ・藪地島は聖地として意識する必要がある。（★）
- ※勝連地域・与那城地域共通、（★）は与那城地域に関する意見

## (2) 育てる

### ①自然災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・管理

- ・与那城総合公園横のクワディーサー並木道はみどりのトンネルを形成しています。県道37号線の防潮林は、地域や関係機関との協力のもと、適切に継続的な維持管理に努めます。

### ②都市災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・形成

- ・防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置します。

### ③避難体系を構成するみどりの形成

- ・地震や風水害時に災害から人命を守る避難地や防災活動拠点となる公園・緑地の確保とともに、各拠点につながる安全な避難ルートの確保に努めます。

### ④日常圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（健康増進、交流）

- ・与那城の照間農村公園、饒辺農村公園、上原農村公園、伊計農村公園などは、配置バランスを考慮し、都市公園として再編を検討します。

### ⑤広域圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（観光）

- ・平安座島を結ぶ海中道路は、来訪者が多く訪れる観光・ドライブコースとして、潮風等の環境に強くて魅力的な緑化を進め、良好な沿道景観の形成を図ります。



### ⑥自然とのふれあい・交流の場となるみどりの保全・活用（自然・海岸・海浜の利活用）

- ・藪地島、宮城島や伊計島の海岸・海浜は良好な自然環境や生態系、景観を保有しており地域の協力のもと保全・活用を図ります。

## 育てる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・安全（交通安全、防犯面）にも配慮したみどり
  - ・県道に花を植えている。屋慶名の歩道は緑化センターでもらった苗を植えている。（★）
  - ・のびのびとした子どもたちも来る緑の多い公園になると良い。
- ※勝連地域・与那城地域共通、（★）は与那城地域に関する意見



### (3) つくる

#### ①郷土景観となるみどりの形成

- ・平安座島・宮城島・伊計島の島々には、伝統的な農村・漁村集落の形態が見られます。集落内にはフクギ屋敷林や集落背後林、大木・古木、井泉等の資源が多く存在しており、これらを周辺環境と合わせて保全し、郷土景観を形成します。
- ・シヌグ毛のクワーディーサー、シヌグ毛のデイゴ（南）、アシビナーのアコウ、クルフクギー等の地域のシンボルとなる樹木を、保存樹制度の活用等により地域住民と協力して維持・保全します。
- ・本市の代表的な観光拠点である勝連城跡と海中道路をつなぐ地域の住宅地は、観光ルートの背景に相応しい景観づくりとして、質の高い緑化を進める等、地域住民とともに住宅地のみどりの保全・創出に取り組みます。

#### ②都市景観を創出するみどりの魅力向上

- ・庁舎、学校等は地域参加型による公共施設緑化を進めます。民間施設は、大気汚染等への緩衝帯や隣接する住宅地等への防火帯といった役割を果たす工業施設の緑化、観光振興にも寄与するリゾートホテルの緑化等により、施設の特性に応じた緑化・維持を誘導します。

#### ③優れた眺望点の利用促進

- ・伊計大橋、屋慶名海岸、藪地島などの海岸景観を維持・保全し、地域振興の重要な資源として活用を図ります。
- ・県道 37 号線や県道 239 号線沿いの海岸線は、観光資源として良好な自然環境の保全に努めるとともに、憩いの場や交流の場として海岸・海浜の利活用を検討します。
- ・野グスク、シヌグ堂遺跡等からの集落や海岸の眺望を確保します。



#### ④歴史文化を伝えるみどりの保全・形成

- ・屋慶名のインガー、平安座のハマヌカー、伊計のソーランカー等、各集落に残る井泉及びその周辺環境は、地域資源として、市民協働により維持・保全を図ります。
- ・沖縄県の代表的な村落跡として保存整備されている仲原遺跡は、適切な維持管理と観光資源として活用を図ります。屋慶名闘牛場は周辺を含めた環境整備により、地域の農村伝統文化の場として保全・活用を図ります。



#### ⑤河川、海岸における美化及び整備の推進

- ・海中道路の周辺海岸の環境浄化や干潟の保全に努めます。

## ⑥住民参加・県民運動による緑の美ら島づくり

- ・地域の住民参加による、身近な緑地環境の創出・保全活動を通じて、みどりの美ら島づくりの活動を推進します。

### つくる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・屋慶名地域ではユリで人々を出迎えたいと考えている。(★)
- ・藪地島は聖域のため、個人の墓地は造らないでほしい。(★)
- ・聖域を意識し、大切にしていくことも必要であると思う。

※勝連地域・与那城地域共通、(★)は与那城地域に関する意見

## (4) 広げる

### ①公民連携による公園整備

- ・民間企業やまちづくりの取り組みを担う組織・団体と連携して、まちの賑わいに寄与する公園として、整備・管理運営・活用を進めます。

### ②公園等への市民協働による適切な緑化の推進

- ・自治会をはじめ、地域住民等で組織される緑化団体が意欲的に活動しており、地域コミュニティづくりに寄与しています。これらの団体とボランティア・関係機関・行政等と協働し、沿道緑化や海岸等の清掃活動等に取り組みます。

### ③学校等の公共施設や身近なみどりの継続的な管理の推進

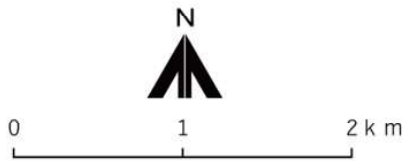
- ・地域コミュニティの核となる学校や庁舎などの公共施設のみどりは、住民との協働で適切な維持管理を進めます。

### 広げる

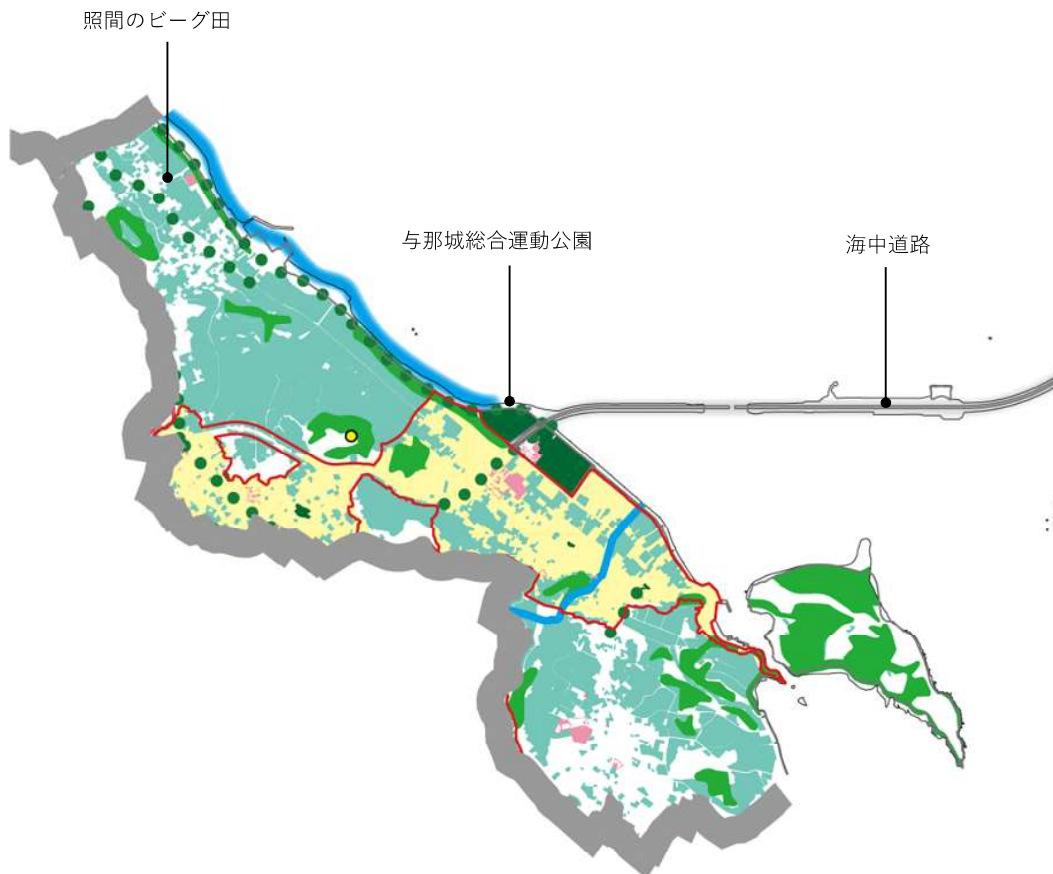
第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

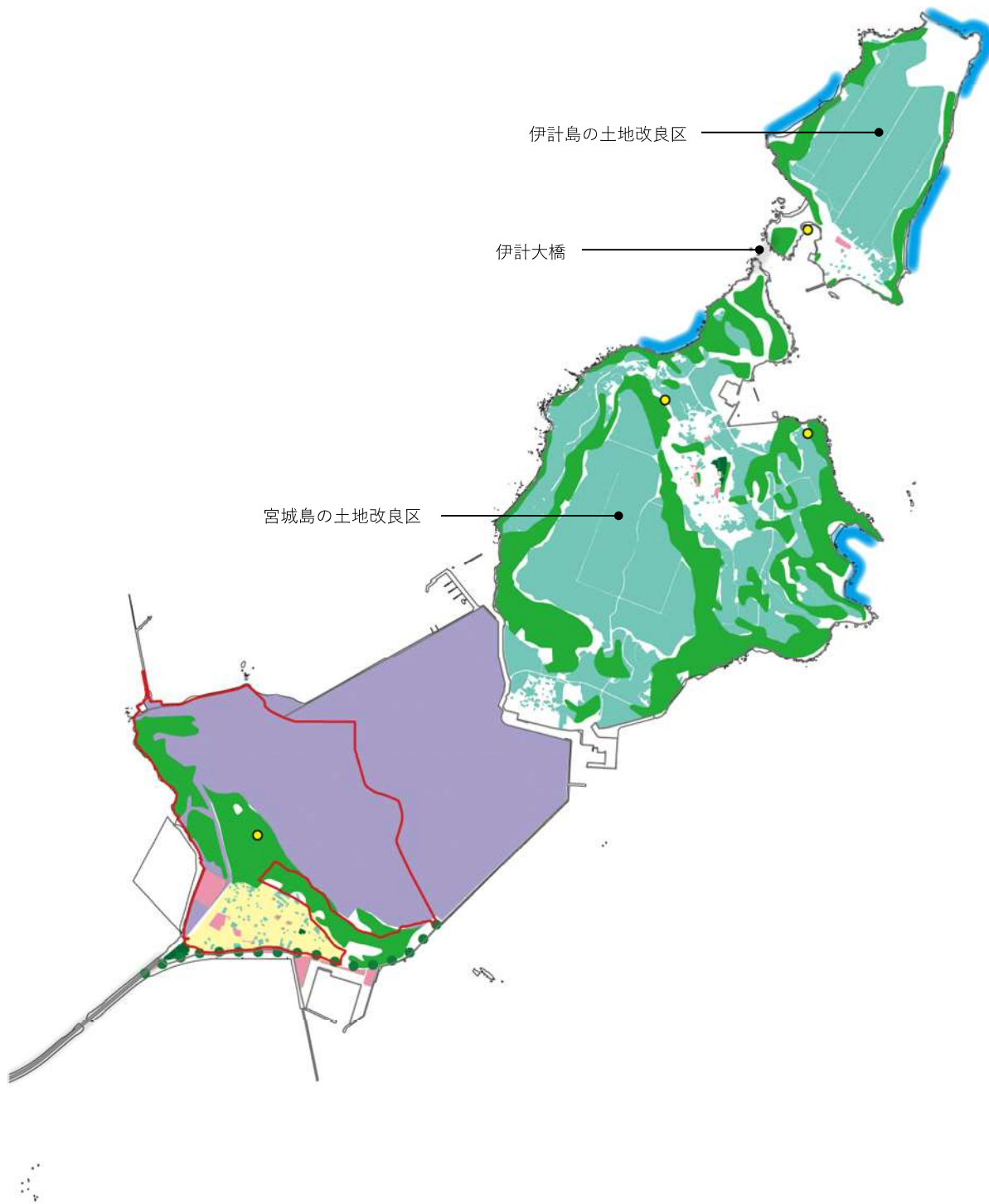
- ・若い人の緑への関心を高めるため、行政も一緒に取り組んでほしい。
- ・照間では、地域の若い人たちがみどりの取組をしている。みどりに関する取り組みへの参加でその地域のみどりに愛着が湧く。地域の意識が取組に影響する。
- ・ボランティアの大変さに共感してもらい、手伝っていただく方法もある。
- ・楽しみながらみどりを広げると良い。そのためには、PTA活動との連携や、子どもたちが参加しやすいイベントの開催、広報(冊子等)で周知を行い、大人にも来てもらう仕掛けをつくると良い。
- ・広報にボランティアをするメリット等を掲載してそれを広め、知ってもらうと良い。
- ・参加するきっかけづくりや、初めて参加される方の不安を解消させることが必要である。
- ・仕事が忙しい中でも参加できる取組があると良い。

※勝連地域・与那城地域共通



凡 例	
	用途地域界
	樹林地の保全
	河川の保全と活用
	海岸・海浜の保全
	農地の保全
	森林（保安林）の保全と活用
	歴史文化資源の保全と活用（グスク）
	歴史文化資源の保全と活用（闘牛場）
	道路の緑化（街路樹）
	都市公園・都市緑地
	公共施設緑地
	住宅地のみどりの保全と創出
	工業地の緑化





- 1. 計画の概要
- 2. 現況調査
- 3. 計画課題
- 4. 緑及緑化び地の目標保全
- 5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全
- 6. の推及緑施進び地策の緑の方化保め全
- 7. 地域別計画
- 8. 配地線慮区化地・重区保点全
- 9. 向計け画て実現に
- 10. 巻末資料

図 7.8 与那城地域の方針図